



平成25年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルチザネットワークス

コード番号 6778 URL <http://www.artiza.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 床次 隆志

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 清水 政人

TEL 042-529-3494

四半期報告書提出予定日 平成25年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第2四半期の連結業績(平成24年8月1日～平成25年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第2四半期	347	△53.1	△243	—	△190	—	△191	—
24年7月期第2四半期	740	51.7	△26	—	△3	—	△4	—

(注) 包括利益 25年7月期第2四半期 △156百万円 (—%) 24年7月期第2四半期 △30百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第2四半期	△2,375.40	—
24年7月期第2四半期	△50.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年7月期第2四半期	3,402	3,134	92.0	38,933.19
24年7月期	3,576	3,288	91.9	40,882.92

(参考) 自己資本 25年7月期第2四半期 3,131百万円 24年7月期 3,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年7月期	—	0.00	—	—	—
25年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の連結業績予想(平成24年8月1日～平成25年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	△22.2	△257	—	△196	—	△198	—	△2,461.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※連結業績予想の修正につきましては、本日(平成25年3月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年7月期2Q	95,620 株	24年7月期	95,620 株
② 期末自己株式数	25年7月期2Q	15,193 株	24年7月期	15,193 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年7月期2Q	80,427 株	24年7月期2Q	80,427 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は、3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

移動体通信分野では、LTEのサービスが世界各地で開始され、スマートフォン等多種多様なモバイル端末の普及により、移動体通信の更なる高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が本格化していくことが予想されますが、通信品質の問題や、事業者間による加入者獲得競争、WiMAX等のサービスの展開により、通信事業者及び通信機器メーカーの競合状況は今後も一層の激化が予想されます。

また、固定通信分野におきましても光ファイバを中心としたブロードバンドサービスが進展し、IP化に伴うサービスの融合化が加速しております。スマートフォン等の普及によるネットワークトラフィックの増加により、ネットワークの負荷低減に向けた投資も行われており、ネットワークの更なる高速化・大容量化が求められております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い積極的な研究開発投資が見込まれる一方で、サービスの低価格傾向は定着しており、通信各社の研究開発及び設備投資は選別的な姿勢が継続されるものと予想され、欧州の金融不安など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) LTEに対応する製品の開発及び販売
- (ii) LTEに対応する商材開拓及び販売
- (iii) 中国、韓国、欧州、インド、北米等の海外市場におけるLTE対応製品の市場開拓及び販売
- (iv) WiMAXに対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (v) 第3世代移動体通信対応製品の販売
- (vi) 次世代ネットワーク（NGN：Next Generation Network）に対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (vii) LTE-A（Advanced）に対応する製品の開発
- (viii) 通信分野における新事業に向けたマーケティング及び研究開発

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の売上高は以下のとおりとなりました。

（モバイルネットワークソリューション）266,254千円（前年同期比57.1%減）

当セグメントの売上高は、266,254千円となりました。LTEのサービス分野では、事業者間による加入者獲得競争が激化しており、インフラ整備及びスマートフォン等の携帯端末への積極投資が行われております。しかしながら、LTE大型基地局向け等の研究開発投資につきましては当初想定していた通りに進まず、当社グループが得意とする大型基地局向けの過負荷試験機の販売が前年同期比で大幅に減少いたしました。第3世代対応製品の国内及び海外への販売、WiMAXに対応した製品の販売を行いました。前年同期比で大幅な減少となりました。

（IPネットワークソリューション）81,159千円（前年同期比32.1%減）

当セグメントの売上高は、81,159千円となりました。イーサネットサービス向けのフィールドテスト用途の「サービススタ」の販売は前年同期比で増加しましたが、NGNに対応するプロトコルテストの売上が前年同期比で減少したことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高347,413千円（前年同期比53.1%減）、次世代通信規格であるLTE-A（Advanced）に対応する過負荷試験機の研究開発及び大型・小型基地局を問わず販売が見込める機能試験機の研究開発を継続していることにより、営業損失は243,102千円（前年同期は26,650千円の営業損失）、経常損失190,085千円（前年同期は3,492千円の経常損失）となり、四半期純損失191,046千円（前年同期は4,033千円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,480,995千円であり、前連結会計年度末に比べ415,058千円減少いたしました。現金及び預金が42,244千円、原材料及び貯蔵品が98,517千円増加したものの、売掛金が640,528千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は921,890千円であり、前連結会計年度末に比べ241,084千円増加いたしました。無形固定資産が3,242千円、投資その他の資産が258,574千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は246,819千円であり、前連結会計年度末に比べ25,427千円減少いたしました。その他の負債が48,978千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,134,166千円であり、前連結会計年度末に比べ153,923千円減少いたしました。利益剰余金が191,046千円減少したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は営業活動による収入257,310千円、投資活動による支出232,337千円、財務活動による支出474千円により、資金残高は1,810,165千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失190,085千円に対し、減価償却費31,789千円、売上債権の減少額640,528千円、仕入債務の増加額25,698千円があったものの、たな卸資産の増加額101,527千円があった結果、営業活動によって増した資金は257,310千円（前年同期は156,852千円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資有価証券の取得による支出417,945千円に対し、投資有価証券の償還による収入196,946千円があった結果、投資活動によって減少した資金は232,337千円（前年同期は32,563千円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

リース債務の返済による支出464千円があり、その結果、財務活動によって使用した資金は474千円（前年同期は625千円の支出）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

国内の移動体通信市場におけるLTEのサービス分野では、事業者間による加入者獲得競争が激化しており、インフラ整備及びスマートフォン等の携帯端末への積極投資が行われております。

しかしながら、LTE大型基地局向け等の研究開発投資につきましては、当初想定していた通りに進まず、当社グループが得意とする大型基地局向けの過負荷試験機の当第2四半期における販売が前年同期比で大幅に減少いたしました。

第3四半期以降は前期並みの受注を見込んでおりますが、第2四半期までの売上減を補えず期初に予想いたしました通期の売上高を大幅に下回る見通しとなりました。また第3四半期以降も引続き次世代通信規格であるLTE-A（Advanced）に対応する過負荷試験機の研究開発及び大型・小型基地局を問わず販売が見込める機能試験機の研究開発を継続することにより、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても期初予想に対して大幅に減少（赤字）する見通しとなりました。

以上の状況を踏まえ、本日別途お知らせしておりますように、平成24年9月6日発表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、平成23年7月期に、継続的な営業損失の発生及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上し、これにより、将来にわたって事業活動を継続するとの継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりました。前連結会計年度（平成24年7月期）は、営業利益及び営業キャッシュ・フローのプラスを計上いたしましたが、当社グループを取り巻く経営環境は依然先行き不透明な状況であり、重要事象等の存在を完全に解消するには至っておりませんでした。しかしながら、財務面に支障はないものとして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載には至っておりませんでした。

当第2四半期連結累計期間におきましては、営業損失を計上し、引き続き重要事象等が存在しておりますが、前連結会計年度に引き続き収益構造の改善、販売管理費の削減、研究開発テーマの絞込み等を実施し業績の改善を図ってまいります。資金につきましても、当第2四半期連結会計期間末時点での現金及び預金の残高は、1,810,161千円であり、財務面に支障はないものと考えております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載には至りませんでした。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,767,917	1,810,161
売掛金	890,135	249,607
商品及び製品	201,057	201,911
仕掛品	2,880	1,468
原材料及び貯蔵品	26,422	124,939
その他	7,641	92,907
流動資産合計	2,896,054	2,480,995
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10,215	9,384
車両運搬具（純額）	2,198	3,834
工具、器具及び備品（純額）	104,066	82,527
有形固定資産合計	116,479	95,747
無形固定資産	13,253	16,496
投資その他の資産	551,073	809,647
固定資産合計	680,805	921,890
資産合計	3,576,859	3,402,886
負債の部		
流動負債		
買掛金	151,673	177,372
未払法人税等	3,724	997
賞与引当金	19,483	20,062
その他	97,365	48,387
流動負債合計	272,247	246,819
固定負債		
資産除去債務	11,317	11,379
その他	5,204	10,520
固定負債合計	16,521	21,899
負債合計	288,769	268,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,500,547	1,500,547
利益剰余金	964,326	773,279
自己株式	△515,124	△515,124
株主資本合計	3,309,099	3,118,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,354	9,545
為替換算調整勘定	344	3,680
その他の包括利益累計額合計	△21,009	13,225
新株予約権	—	2,887
純資産合計	3,288,090	3,134,166
負債純資産合計	3,576,859	3,402,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)
売上高	740,403	347,413
売上原価	492,064	173,923
売上総利益	248,339	173,490
販売費及び一般管理費	274,989	416,593
営業損失(△)	△26,650	△243,102
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,424	19,691
為替差益	—	32,816
保険解約返戻金	11,462	—
その他	818	1,707
営業外収益合計	25,705	54,214
営業外費用		
支払利息	31	31
為替差損	2,516	—
消費税差額	—	1,094
その他	—	71
営業外費用合計	2,547	1,197
経常損失(△)	△3,492	△190,085
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,492	△190,085
法人税、住民税及び事業税	1,150	1,150
法人税等調整額	△608	△188
法人税等合計	541	961
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,033	△191,046
四半期純損失(△)	△4,033	△191,046

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,033	△191,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,110	30,899
為替換算調整勘定	△283	3,335
その他の包括利益合計	△26,394	34,235
四半期包括利益	△30,427	△156,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,427	△156,811
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△3,492	△190,085
減価償却費	28,601	31,789
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,185	579
受取利息及び受取配当金	△13,424	△19,691
支払利息	31	31
売上債権の増減額 (△は増加)	137,233	640,528
たな卸資産の増減額 (△は増加)	106,770	△101,527
仕入債務の増減額 (△は減少)	△88,355	25,698
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,604	△33,819
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△19,179
その他	△30,025	△94,071
小計	144,758	240,254
利息及び配当金の受取額	13,054	19,358
利息の支払額	△31	△31
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△928	△2,271
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,852	257,310
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,805	△3,147
無形固定資産の取得による支出	—	△7,012
投資有価証券の取得による支出	—	△417,945
投資有価証券の償還による収入	—	196,946
保険積立金の解約による収入	26,100	—
その他	8,269	△1,179
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,563	△232,337
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△382	△464
配当金の支払額	△243	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△625	△474
現金及び現金同等物に係る換算差額	△682	17,749
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	188,108	42,248
現金及び現金同等物の期首残高	1,780,021	1,767,917
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,968,129	1,810,165

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	620,917	119,486	740,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	620,917	119,486	740,403
セグメント利益又は損失（△）	△61,223	34,573	△26,650

（注）セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	266,254	81,159	347,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	266,254	81,159	347,413
セグメント利益又は損失（△）	△272,031	28,928	△243,102

（注）セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。